

事業者行動計画書

2020年 7月 30日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

滋賀県近江八幡市長福寺町 172 番地

氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）

株式会社UACJ 押出加工滋賀

代表取締役社長 堀田 泰志

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 第20条第3項  
第22条第1項・第22条第2項において準用する同条例第20条第4項の規定に基づき、事業者行動計画を策定したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）	株式会社UACJ 押出加工滋賀 代表取締役社長 堀田 泰志
事業者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	滋賀県近江八幡市長福寺町 172 番地

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社UACJ 押出加工滋賀					
事業所の所在地	滋賀県近江八幡市長福寺町 172 番地					
主たる事業	細分類番号	2	3	3	2	アルミニウム・同合金圧延業（抽伸、押しを含む）
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間 3,000 トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

1 計画期間

計画期間	2020年度	～	2022年度
------	--------	---	--------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

- 株式会社 UACJ 押出加工小山工場（小山、滋賀及び東鍛地区含む）  
別紙1に依る。  
資料：軽環規程 E-E001-00
- UACJ グループ環境基本方針  
別紙2添付に依る。  
資料：軽環規程 E-E001-00

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

- 公害防止統括者 代表取締役社長
- 環境管理責任者 製造部 部長（製造課長兼任）
- 推進体制（組織図）  
ISO14001 環境管理組織表  
図-1 添付に依る。  
資料：軽環規程 E-E006-00-23
- 従業員教育  
2020年4月～2022年3月  
教育訓練  
内容：環境スキル認定教育  
緊急事態への対応訓練  
各年度の環境実績値と環境目標値の周知徹底

備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

CO<sub>2</sub>の排出削減の取組については、平成元年から計画的に積極的な取組を行っている。

- エアコンプレッサーの電力量については、エアリーク低減や設定圧力の見直し（設定値下げる）をして使用電力量の削減が出来ましたが更なるエアリーク箇所の調査対応実施し工場エアリーク0を目指しています。（通年取組項目）
- コンプレッサー更新時は、容量の更なる見直しと省エネタイプを選定して購入推進をして省エネを図りました。
- 空調設備更新時にも省エネタイプ購入推進をしました。
- 休憩時間中の照明灯、天井灯、モータ、ファンの消灯及び停止を周知・徹底しました
- 事務所、休憩所等空調設備の温度管理の徹底をしました。  
ハイブリッドファンを取付け室内空気循環させて冷房 28℃ 暖房 20℃設定温度厳守する。
- 設備新設・更新時のLED照明灯・LED器具の採用推進継続実施中

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	運用改善管理	ダイス金型形状の見直しに依る生産性UP (2020年度継続取組項目)	2020年度～ 2022年度
2	設備導入対策	MS建屋内照明用蛍光管LED管の採用 (2020年度継続取組項目)	2020年度～ 2022年度
3	設備導入対策	標準モータからプレミアム(効率UP)モータに更新 (2020年度継続取組項目)	2022年度～ 2022年度
4	設備導入対策	MSライン内空調機更新(容量変更下げる7.5KW⇒5.5KW) (2020年度新規取組項目)	2020年度～ 2022年度
5	設備導入対策	総合事務所屋根遮熱塗料塗布 (2020年度新規取組項目)	2022年度～ 2022年度
6	設備導入対策	総務事務所窓開閉式ルーバーの取り付け (2020年度新規取組項目)	2020年度～ 2022年度
7	設備導入対策	工場外エアコン室外機遮熱塗料塗布 (2020年度新規取組項目)	2022年度～ 2022年度
8			

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

上記(1)の取組により、2011年度(H23年度)を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指します。

原単位 「温室効果ガス/生産量」 で 毎年1%削減目標とする。

尚、原単位の考え方は下記の通りです。

温室効果ガス排出量は製品の生産量に大きく影響を受ける為、生産量を原単位の指標(分母)として設定しました。尚、実績を目標と適切に対比させる為、計画期間中の各年度の温室効果ガス排出量策定に当たって、電気のCO<sub>2</sub>排出係数(電力原単位)は基準年度の係数(0.311)に固定して算定します。

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により 達成しようとする目標	実施スケジュール
1	3Rの推進	廃棄物の分別、再利用、削減を促進し埋立処分量を0%にする。	2020年度～ 2020年度
2	グリーン購入	汎用品のグリーン調達購入（エコ調達品の調達） 基本にグリーン調達品の調達率100%達成する。	2020年度～ 2022年度
3			
4			
5			
6			
7			
8			